



解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。折りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2019. 7 月第 608 号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

「6秒ルール」というのを聞いたことがあるだろうか。人は怒る時、脳内にアドレナリンという物質が大量に放出されるといふ。その時間が約6秒。その間を、別のことを考えたり、数を数えることでやり過ごすことができれば、怒りの感情を抑えることができるというのだ。この他にも、様々な、怒りをコントロールする心理学的手法があり、それを「アンガーマネージメント」と呼び、今、大変注目されているそうだ。確かに、現代のストレス社会では、理不尽なことや、不愉快なことに遭遇するたびに、人は怒りを爆発させることが多い。「キレる老人」「炎上」「クレーム」「あたり運転」など。これらの言葉を、誰もが一度は耳にしたことがあるだろう。

私も、以前、新横浜の駅で、電車が止まり、改札の前で、大きな声で駅員に向かって怒声を上げていたひとりのサラリーマン風の人を見かけたことがある。周りには夥しい群衆が集まり、殺気だった雰囲気の中で、無味乾燥な駅のアナウンスの声と、怒声が不協和音のように響き渡っていた。こんな殺伐とした風景は、きつと都会に住む人にとって、は日常のものになっているのかもしれない。けれども地方にあっても、時として役所や

道を推し進め、当時のカトリック教会の権威の理不尽に憤ったルターによって宗教改革は行われた。いずれにせよ、歴史の中で、怒りは取り返しのつかぬ結果を生じさせることも、また劇的に社会を歩進させる力となるときもあることは事実であろう。

さて、そこで今月の言葉である。「だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。」（ヤコブ1:19）

主幹牧師 榎本 恵

瞑想

だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。

ヤコブ1:19

お店、学校や家庭で、いや、それ以上に教会の中でさえ、このような怒りの現場に出会うことがある。しかし、それは決して現代社会だけが抱えている問題ではない。まさに、人々の怒りが、主を十字架へと向かわせ、初代教会の多くの使徒たちは人々の怒りにさらされ、大いなる迫害を受けた。同時に、教会の中でのユダヤ人に対するパウロの怒りが、異邦人伝

によって、それは毒にも、薬にもなってしまうのではない。耳を閉ざし、口をつぐみ、怒りを抑えるだけでは、問題は決して解決しない。聞くべき時に聞き、語るべき時に語り、怒るべき時に怒る。聖書は、決して怒るなどとは書いていない。全てに神の時がある。私の聞きたい時に聞き、言いたい時に言い、感情のおもむくまま怒るのではない。「早く、遅い」神の時を知るものだけが、それを成すことができる。

『すべてのもののとの和解』（日本基督教団出版局）という本の著者はこう語る。「和解とは、理論でも、達成結果でも、テクニクでも、イベントでもありません。和解とは旅のことです。」「和解の旅が導く目的地は、神が新しく創造されるシャロームです。」「と。和解という最も怒りを抑えることの必要な場面で、彼らは、その対処療法を言わな

いかわりに、神への希望を語る。怒りをコントロールすること、それもまた、理論やテクニクではない。それはこの将来約束された「神の新しく創造されるシャローム」を信じ、「主に従い、主に倣い、主と共に」歩む旅なのだ。

友よ、私たちも、聞くに早く、語るに遅く、怒るに遅い和解の旅人となろうよ。

第26回

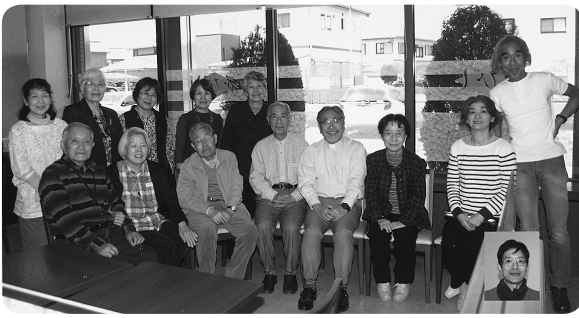
三重アシラムを感謝して

※お便り2通寄せられました。ご紹介します。

(一部抜粋)

岡部知幸子
主の聖名を心より賛
美申し上げます。

2019年三重アシ
ラムも、主のお導きと、
祝福のうちに無事終わ
らせて頂きました。榎
本恵主幹牧師・三好鐵
雄師のご奉仕によつて、
又、皆様のご協力によつ
て主の、御聖霊に満た



され、アシラムの恵み
をしつかりと受け止め
させて頂きました事を
感謝申し上げます。

ただ、やむなくご欠
席の下村先生ご夫妻、
病床の中でもアシラム
の事を祈り続けて下
さった小林茂男、佳子
ご夫妻のお姿が見えな
いのが寂しい限りでし
たが、皆様が、常にお
祈りに覚えて、祈つて下
さった事は感謝でした。

今回は、参加者も少
なく心配していましたが
会計も、特別献金をは
じめ多額の席上献金を
いただき、恵みのうち
に終えることが出来ま
した。神さまは、私た
ちの思いを超えた大き
な恵みをお与えくださ
いました。

榎本先生と、敷内兄、
私と3人でファミリー
の時を持たせて頂きまし
た事、聖書に聴き、共

に祈りました事、今も
あたたかい光に包まれ
た1シーンとして、心の
中に満ち溢れています。
主幹牧師として多忙
をきわめている恵先生
の健康のお守りと働き
が祝されます様に、10

三好 鐵雄
主の御名を賛美いた
します。

「アシラム」誌い
つも有難うございま
す。また、過日は三重
アシラムによきご奉
仕を頂き感謝申し上げ
ます。

昨日、岡部知幸子さ
ん、小林明子さん来宅
され、三重アシラム
の報告書など確認、す
べてに行き届いた内容
であり、何よりも小林
茂男・佳子ご夫妻の祈
りに感謝をもって応答
されてお働き頂いた御
二人の嬉しさ一杯の姿
に感銘を覚えた次第で
す。

小林佳子さんも退院
され、以前より入所さ

月に開催されます国際
平和アシラムが祝され
ます様に。尊き主イエ
ス様の名名によってお祈
りいたします。

(三重アシラム実行委員
近畿福音ルーテル
津教会)

れていますホームに落
ち着かれ、御元気であ
るとの由、感謝してい
ます。

さらに、高志洋美さ
んが第27回には手伝っ
て下さると伺い、神さ
まのみ手がみ業を進め
られていることを実感
させられている次第で
す。

今朝は、とても爽や
かな気持ちで、ふとこ
のペンを手にしたしま
した。と言いますの
が、一昨日私は一年間
課題としてきましたあ
る研究発表を無事終え
ることが出来、中略・
中略・・・いうなら
ば、そういう開放感の
中で「アシラム」誌
606号を受けとり、



早天祈祷会御奉仕の三好師。
お一人お一人に語りかけ…。

(隠退牧師、三重県
チエルノブイリ被曝児
童救援募金代表)

三重アシラムの経過
を伺うなど何か新たな
はじまりの気分を味
わっていた訳です。そ
して、読ませて頂いた
恵先生の巻頭言、小林
佳子さんの「ほどよく
冷やし」の句、そして
後宮俊夫先生の「みこ
とば」が一つとして共
鳴し合っている感銘
を、心にとどめるだけ
でなく、文字としてお
伝えしたく思ったので
す。今後ともアシラム
を通じ、信仰の養い
を頂戴したく願ってい
ます。皆様のこと祈ら
せて頂いて参ります。
主の祝福を！主にあり
て

ご献金者
敬称略
4月分
(イースター
献金含む)
脇 萬里子
金山 良雄
橋本るつ子
チャイム

コンサート
(池田ファミリーの会)
沖田 朝子
小林 政和
羽賀美左乃
三浦美喜子
榎本 和子
阪神
ミニアシラム
清水 恵
福岡聖書教室
渡辺 久
順子 二
尾崎 恵
尾崎 良子
富永 恵
榎本 康子
常任運営委員会
築山 広子
桶川聖書教会
足立タツ子
美雪
石井 恭子
内村 大蔵聖書教室
市川 神司
長島伊豆男
榎本 光太
植村 容子
鹿兒島

キリストの教会
榎原喜三郎
明石シオン
康子
豊永 康子
渡辺美寿子
渡辺 邦子
渡辺 哲造
中谷 武文
杉山 ムキ
越智 千歳
上柿 京子
佐賀 孝子
正岡リツコ
山田喜久子
吉田恵美子
カヴェーイロば
聖書入門講座
大山 牧郎
大山 悠子
河村 千代
河村 琢郎
尾山 江子
西山 均
西山 由香
植草 榮一
沖田 和恵
三重アシラム
中村 弘子
片岡フジ子
ちいば教師
記念チャペル
夕礼拝
黒見 妙子

第44回教職アシラム

山川 暁

第44回教職アシラムが6月4日から6日まで、東京都練馬区にあるイエズス会霊性センターで開催されました。今回、主なる神は、「キリストの愛と霊に導かれる祝福」という主題を与えてくださいました。そして、ヨハネの福音書14章、15章、16章を静聴しました。教職アシラムには第1回目から参加さ



2019/06/04

れている方もおられます。その方を通して、榎本保郎先生が抱いていた教職アシラムへのヴィジョンについて知ることも出来、教職アシラムがそのヴィジョンに立って、これまで継続してきたことを確認することができましたのも、大きな恵みでした。

現役の牧会者の日常は忙しく、聖書とゆっくり向き合う時間が取れないと言われていると思います。そのため、聖書も説教を語るために読んでいる、という声も聞こえてくるほどです。そんなに忙しくさせられている牧会者が、静かな環境の中で、たっぷり時間をかけて、聖書と向き合うことが出来るのがアシラムです。まだ、アシ

呉アシラムの友からの感謝と喜びの便りです。

熊野和之・照美「神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。」詩篇46篇1節

榎本恵先生はじめアシラムセンター、アシラムの皆様

昨年7月の西日本豪雨災害、安浦町市原地区のために祈り下さり感謝致します。その上貴重な御献金をいただき有難うございます。早速集会所の椅子を20脚買いました。(写真右)市原の皆さんが大変喜んでおられます。まだ半分残っています。祈りつつ使わせていただきます。

復興の方は畑の形が変わる位土砂、大きな石、立木等が除去され水路も整備されています。全体の二分の一以上棚田が見えてきて嬉しく思います。土、日はボランティアさんの泥上げ、草刈り等大変お世話になっており、感謝しております。お陰で田植えが始まりました。五軒の方は田植えをされます。

13ヶ所の治山ダム建設が始まる予定です。完成すれば少しは安心できると思います。24軒のうち半分位が他地区に移られました。連がりは今迄どおりあるので支え合っていると思います。

今あるは神の恵みを

ラムを体験していない多くの牧会者にも、是非ともアシラムに参加し、アシラムの恵みを味わっていただき

皆様からの尊いヨセフ基金

たい、と参加者の全員が思わされたのでした。

(単立鶴川キリスト教会)



2019/10/30



2019/04/08

加藤 庸子
静岡聖書教室
安仲 萌子
池谷 治朗
渡辺由美子
植松満里子
鹿屋
キリスト教会
堺大浜
キリスト教会
東京聖書教室
溝井 瑞穂
山崎知恵子
西川 利栄
脇 萬里子
(誕生日感謝)
無 名 氏
濃川 彰子
センター

聖書教室
加藤 和子
菅原 博
吉田すみえ
横山 宣和
無 名 氏
池谷 寿子
福山 直美
79口
¥945,674

ヨセフ基金
(義援金)
常任運営委員会
池谷 治朗
吉田すみえ
ちいろば
アツちゃん・
シユラム君
4口
¥10,600

新修道場
のために
たびんちゅ牧師
1口

会堂改築の
ために
銀田 速明
1口

るっちゃん
るるん福音食堂
のために
メヌエット
おぼさん
波辺 邦子
2口

合 計
86口
¥994,274

尊いご献金、
ご献品、お祈り、
お便り、電話
メッセージ、
そして、共に
アシラム！
感謝いたします

実感し感謝致します。続いてお祈りください。アシラムの皆様の上に神様のご祝福をお祈り致します。

2019年6月5日

2019年度 アシュラムの天上の友を憶える日礼拝

主は私の羊飼。私は乏しいことがない。
主は私を緑の野に伏させ、憩いの汀に伴われる。

詩篇23：1-2

天上の友を憶える日礼拝をご案内します。昨年7月より今年6月までに天に帰られた、アシュラムの友を憶える礼拝です。主の再び来たり給う日を仰ぎ望みながら、この世での生を終え、主のみ元に帰られたアシュラムの友たち。彼らの信仰を思い起こし、それを受け継いでいくものとなりたい、それがこの記念礼拝の目指すところです。今年は、後宮俊夫牧師、高俊明牧師をはじめ、多くの信仰の先達たちを見送りました。どうか、これら先達たちの足跡を思い起こしつつ、私たちもまた、日々祈り、み言葉に聞き従うというアシュラムの新たな思いを誓う時となりますように。皆様のご参加をお待ちしております。

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵

2019年 天上の友を憶える日礼拝

日時：2019年7月27日(土) pm 2:00～3:00

場所：アシュラムセンター「ちいろば牧師記念チャペル」

近江八幡駅までの送迎がごさいます。

事前に参加を希望なさる方はアシュラムセンター
(0748-33-4030) までご連絡をください。

礼拝後、茶話会もごさいます。



故人氏名 (敬称略)	召天日	召天時 在住地
明比 武治	2012. 8. 24	埼玉
中江 元子	2017. 6. 21	京都
筈本 登美	2018. 2	福岡
工藤 隆志	2018. 4. 30	千葉
阿部美保子	2018. 5	愛媛
川野 直人	2018. 6. 20	福岡
合田 和子	2018. 8. 24	東京
池谷 好江	2018. 10. 13	静岡
河村 耐子	2018. 11. 7	滋賀
後宮 俊夫	2018. 12. 23	滋賀
亀井 ヨシ	2018. 12. 25	兵庫
遠藤富美子	2018. 12	東京
土井ヤエ子	2019. 2. 3	大阪
植松喜美子	2019. 2. 3	愛媛
松平 吉生	2019. 2. 11	兵庫
高 俊明	2019. 2. 14	台湾
前田 武男	2019. 3. 5	福井
馬杉 一重	2019. 3. 10	滋賀
林 茂子	2019. 3. 17	徳島
石崎 伴子	2019. 4. 22	愛媛
杉野 法子	2019. 5. 30	兵庫
西田和可子	2019. 6. 11	滋賀
広沢 節子	-	広島

国際正義平和アシュラムへの献金をお願いいたします

主の平和

主の豊かな導きとアシュラムの友の祈りとお支えによりアシュラムセンターも、今年度前半、計画しておりました活動を全て行うことができました。

特に2月のブラジル、台湾への伝道旅行、また四国での初めての主催アシュラムなど、多くの奉仕が進められ、アシュラム誌約3000部の発行も滞りなく行われ、ホームページも月間1200アクセスを越えるまでになってまいりました。

さて、いよいよ今年度後半の大きな業であります、「第16回国際正義平和アシュラム」が9月30日～10月2日に札幌において開催されます。台湾愛修会との協約で、毎年日本と台湾と交互に行われていますこのアシュラム集会に、今年はブラジルのジュラ牧師、また台湾の郭教授をお迎えします。また音楽の奉仕として、キャロルサックさん、そしてアイヌの楽器トンコリ奏者もお迎えします。

大変規模の大きな集会になりますが、これが、日本と台湾とブラジルを結び、またアイヌの人々との出会いを通してアシュラム運動の目指すキリストの平和につながっていくことを信じています。

年金への不安や経済の問題が盛んに報道されている時代ではありますが、そんな時にこそどうか、キリストの平和を覚え、祈りを合わせ、アシュラムの働きをお支えください。よろしくお祈いします。

※詳しいご案内は次号で!

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵
アシュラムセンター常任運営委員一同



台湾原住民の方々の賛美。
in神戸

主幹牧師の2019年ビジョン (3)

次に、今年の9月30日から10月2日に開催する「第16回国際正義平和アシュラム」について、祈りを合わせていただきたいと思います。今回のアシュラムのテーマは、「大地に響け、平和の調べ」。北海道が開拓150年を迎える中で、多くのキリスト教の先達たちがこの北の大地に流した信仰の汗と涙を振り返るとともに、先住の民であるアイヌ民族に対する無理解と差別の歴史を心に刻む、そんな平和アシュラムを行いたいと思っています。今回は、特別奉仕者として、ブラジルアシュラムを推進して下さっている、ジュランジール柳原一蔵牧師をお招きします。柳原牧師は私よりひとつ年下のブラジルアライアンス教会の牧師ですが、今や全世界のアライアンス教団の理事長になられ、またサンパウロ大学で工学を教える教授もなさる、大変優秀な牧師であり、博士です。彼は移民2世としてブラジルサンパウロに生まれ、本当に神様の不思議な導により、大きな祝福を受け、主の栄光を表されています。今や、当地の日系社会の大きな希望の星といっても過言ではないでしょう。私たちの国が、外国人労働者の受け入れについて、混乱をきたしている中で、移民としてブラジルへ渡った日本人の子、柳原牧師をお迎えするのは、大変タイムリーなものと思います。どうか、このことを覚え祈りを合わせてください。また2日目には、オープンプログラムとして、毎回参加される台湾原住民教会のみなさんの賛美とともに、北海道のアイヌ民族の歌を聞かせていただきます。またスペシャルゲストとして、昨年のNHK「心の時代」でも取り上げられたリラプレカリア(祈りの豎琴)の主唱者キャロルサック宣教師が、演奏してくださいます。

今年で16回を数える、「国際正義平和アシュラム」は台湾愛修会とアシュラムセンターとの協約の証しとして始められたものでした。この世の与える平和ではなく、主の与えてくださる平和を信じ、それを求め続けていくこと、それが、アシュラムの祈りの証しとなること、このような思いで台湾と日本を一年ごと交互に続けて来ました。ここに、新たにブラジルアシュラムの友が加わります。主のしてくださる平和を共に確認するときとなるでしょう。最初からこのアシュラムに心血を注ぎ、尽力くださった後宮俊夫牧師の語られている言葉を紹介します。どうか、国際正義平和アシュラムを覚え、お祈りください。

戦争から戻り、生きる希望を失った時に出会った榎本牧師の姿を通して学んだキリストの教えを噛みしめる。「平和、平和と口で言うだけでは実現しない。『自分だけ』ではなく、互いに『許すこと』がなければ平和は訪れない。(産経新聞インタビューより)

(続く)



日本アライアンス呉教会でも
アシュラムが継がれ、今年で49回目

あとがき

6月15日、第1回の
四国一日アシュラムが
祝福のうちに終わった。
44年前の今治アシュラ
ム以来、アシュラムセ
ンター主催のアシュラ
ムが開かれていなかっ
た四国の地で、この度
三島真光教会を会場に、
29名の参加者を与えら
れアシュラム集会が開
かれたことは大変感慨
深い。阪神、オリーブ
の里、福岡に続く4カ
所目の地域での主催ア
シュラム。特に今回は
今治アシュラムという
アシュラム運動の原点
の再興という意味でも
大変重要であった。ど
うか、このアシュラム
が今後もますます祝福
され、アシュラム運動
が再び多くのキリスト
者への導きとなってい
くように。どうか、ア
シュラムの友の祈りを
お願いする。
(恵)

7月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

5(金)	阪神ミニアシュラム(主恩教会 PM1:00)
16(火)	大阪聖書教室(大阪クリスチャンセンター AM10:30)
17(水)	カフェちいろば聖書入門講座 075-643-2476 (京都・伏見区深草 PM1:30) みんなのカフェちいろば
18(木)	新さん祈りの家(滋賀県湖南市 AM10:00)
21(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝・愛餐会(PM5:00)
22(月)	静岡聖書教室(旧・英和女学院宣教師館 PM2:00)
23(火)	東京聖書教室(御茶ノ水クリスチャンセンター AM11:00)
23(火)	桜美林リトリートアシュラム(桜美林大学荊冠堂チャペル PM2:30)
24(水)	ちいろば祈りの家(町田・黒見姉宅 PM1:00)
26(金)	センター聖書教室(アシュラムセンター AM11:00)

7月のアシュラムなど

15(月)	第22回 福岡一日アシュラム 0748-33-4030 (於 福岡中部教会) 奉仕者 榎本恵師 アシュラムセンター
15(月)	第10回 修学院一日アシュラム 072-262-6044 (於 世光教会、最終回) 米澤敏子姉 奉仕者 榎本栄次師、新井純師、信岡茂浩師
25(木) 27(土)	常任運営委員のための修道場アシュラム 0748-33-4030 奉仕者 榎本恵師 アシュラムセンター
27(土)	天上の友を憶える日礼拝(アシュラムセンター、PM2:00)

8月のアシュラム予定

19(月) 21(水)	第29回 軽井沢アシュラム
22(木) 23(金)	第45回 松山アシュラム

2019年9月以降のアシュラム予定

9月9~11日	第57回 関東アシュラム
9月15日	第54回 九州アシュラム
9月20~21日	新潟アシュラム
9月23日	福島浜通りアシュラム
9月30~10月2日	第16回 国際正義平和アシュラム
10月7~8日	第43回 山陰アシュラム
10月9~10日	第7回 日光オーリーブの里アシュラム
10月11~12日	第20回 愛知一泊アシュラム
10月18~19日	第24回 北陸・富山アシュラム
10月22日	第23回 埼玉一日アシュラム
11月14~15日	第43回 阪神アシュラム
11月19~21日	第44回 京浜アシュラム



三重アシュラム後
小林ご夫妻へ報告に。
退院間近。感謝！



新入りミリーちゃんに愛を
注ぐ和子母。御使い子猫。

みことば



元アシュラムセンター代表・常任運営委員長
元日本キリスト教団甲西伝道所牧師
後宮 俊夫 師(2018.12.23召天 96歳)

あなたがどこへ行くにも、あなたの神、
主が共におられるゆえ、恐れてはならない、
おののいてはならない。

ヨシュア 1:9

今年(1963年)は5月29日にペンテコステを迎える。教会の誕生の日であるペンテコステ(五旬節)に聖霊降臨日の名称を付けられていることを考えてみようではないか。

使徒行伝の始めを見ると、復活の主は40日にわたってたびたび弟子たちに現れて、神の国のことを語られたのであるが、その主が彼らにお命じになったことは、これこれの方策を以て神の国を建設せよとか、こんなやり方で人々に福音をひろめて行けとかいったことでなく、実に「エルサレムから離れないで、かねてわたしから聞いていた父の約束を待つがよい」(使徒1:4)ということである。この父の約束とは、つづけて「すなわち、ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは間もなく聖霊によってバプテスマを授けられるであろう」と説明されている。要するにじたばたしなないで、聖霊の授けられるのを待てと言うのであった。

今日、教会は、キリスト者は、エルサレムから離れないで聖霊を授けられるのを待つと言うことのように考えて、どんな活動をするのがよいか、どんな方法で宣教するのがよいかを、あれこれ評定しているかに見える。確かに訪問伝道でうまく行った教会があり社会活動で生き生きとした教会があるであろう。だからと言ってその型を真似たら、すべてうまく行くとは限らない。むしろその根底にあるものこそ大切なのである。

それは「聖霊を受ける」ことである。パウロがコリント人への第一の手紙12章に述べているように、同じ聖霊が種々の働きをさせるのである。聖霊なくして、その外面的な働きの真似をしようとしてもそれは無駄である。どんなに形が同じであっても、聖霊がなくては実を結んでこないのである。今日、わたしたちが何よりもなくてはならないことは、聖霊を求めることである。聖霊を受けることにより、全ては力強く始まって行くのである。(続く)

1963年出版「ガリラヤ」(日本キリスト教団世光教会「祈りの集い」の機関紙)より